

# 大河原 ロータリークラブ会報



2023~2024年度  
国際ロータリーのテーマ

世界に希望を  
生み出そう

**CREATE HOPE  
in the WORLD**

会長：佐々木由美子 副会長：丸山 勝利 広報・IOC 委員長：佐藤 克美  
幹事：鈴木 孝典 副幹事：高橋 英明 副委員長：佐藤 能文  
委員：渡辺 和子

2023~2024年度RI会長 ゴードンR. マッキナリー  
国際ロータリー第2520地区 森 川 昭 正  
2023~2024年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113

## 会長あいさつ

会長 佐々木 由美子

### 2023年7月13日(木) 第2650回



皆さんこんにちは。今年度第2回目の例会です。テーブルを寄せて密な例会場のレイアウトですが、少し慣れましたでしょうか？

一昨日、境内の草むしりをしておりましたら、見上げた空にトンボの大群が飛び交っておりました。一斉に羽化して飛び立ったものと思われます。その自然

の様子を眺めていてふと思ったことがありました。

先月末に訪れたタイのバンコクでは想像を超える都市の発展と電子マネーが発達しており、活発な経済活動を肌で感じる事が出来ました。いまの日本に於いても全ての変化は目まぐるしく、電子マネーについても私も日常的に利用します。

変化し続けるその有様はまさに「諸行無常」。

すべての物事は常に変化を続けるものであるという教え、そのものであると感じます。

そう申しましても日々を送る中ではどうしても気持ちがざわつくことも確かにあります。

世の中の経済活動・物事の捉え方や価値観の変化、また、無機質なものの変化がスピードを増しているように 感じられる日常の中で、とんぼの群れのように自然の変わらぬ姿に出会うことで、私たちは気持ちの落ち着きを得て、心の均衡を保っているのかもしれませんが。

「諸行無常」とは言え、この先電子マネーが益々浸透していったとき「お金をお包みする」という日本の奥ゆかしい言い回しもひょっとしたら死語になるかも…。などといつ先を案じたりしてしまいました。

さて今回、会員増強委員長はじめ会員の皆様方のご協力のもと、地道な取り組みが実を結んで3名の会員増加となりました。本日から大河原RCの会員となります3名の方をご紹介します。



原田 眞 会員 高橋 大志 会員 上ノ台美穂 会員 です。

3名の皆様の入会をお待ちしておりました。会員一同心より歓迎いたします。そしてこの先、ロータリアンとして共に長く活動できることを願っています。

次週は3名の新入会員の歓迎会も兼ねての夜間例会開催の予定となっております。

9年前、新入会員歓迎会を盛大に開催して頂いたとき、うれしすぎて高熱が下がらず、当日欠席で幻の歓迎会となった自分の入会時のことをまたしても思い出しました。

入会されました3名の方々に於かれましては是非体調を万全にして来週の歓迎会のご参加をお待ちしております。



大河原ロータリークラブ 2022～2023年度出席優良者  
記念品を贈呈致します。おめでとうございます！

100%出席（50音順）

小田部晃二郎 会員  
櫻井 淳一 会員  
佐々木由美子 会員  
津田 政行 会員  
中村 昭彦 会員  
藤江 裕佳里 会員

90%以上出席

鈴木 孝典 会員  
中山 雅之 会員

<参考>

岡崎 隆 会長 110%  
庄司 大 幹事 103%

2022～23年度  
出席委員長 小田部晃二郎



## 2023年7月20日(木) 第2651回例会

皆さんこんばんは。本日は3名の新入会員大歓迎会、そして新年度最初の夜間例会です。

あらためて、今回入会された3名の方々を会員一同心から歓迎します。そして首を長くしてお待ち申し上げておりました。是非良い歓迎会になりますよう親睦を深めて下さい。

大河原ロータリークラブのメンバーは互いに助け合い、そしてみんなのために力いっぱい行動できる。そういう仲間がそろったクラブです。

それに関連して4文字熟語の一つご紹介いたします。

「一蓮托生」

一蓮托生とは、死後、極楽浄土で同じ蓮華の上に生まれることを指しています。ほぼ雰囲気でお分かりだと思いますが、これはまさしく仏教の言葉になります。

同じ信心で結ばれている人たち、夫婦、友人などが「来世に極楽浄土で一緒に暮らしましょうね」と願う時の言葉です。

そしてまた、この言葉は江戸時代の心中にもよく使われました。封建時代の社会の束縛にあって、この世で結ばれぬ恋人同士が「来世こそ添い遂げましょうね」と願う時などに使われる言葉のようです。

それが今では善悪に関係なく「仲間として行動や運命をともにする」という意味に使われるように変化してきました。

善悪両方の場面に使えるリバーシブル的な言葉ですが、ロータリークラブに於いては善い行動をする仲間として、そして大河原ロータリークラブの会員であることを誇りとして一蓮托生の時を共に重ねていきましょう。



第14回村田町民親睦ゴルフ大会賞品内訳

順位	賞	賞品1	賞品2	賞品3
優勝	町長賞	新米30k	①もち餅5,000円	
準優勝			②もち餅5,000円	
3位			③もち餅5,000円	
4位	企業連賞		④もち餅3,000円	
5位			⑤もち餅3,000円	
6位			⑥もち餅3,000円	
7位			⑦もち餅3,000円	岩井田練習券
8位			⑧もち餅3,000円	
9位	神武精工店賞		⑨もち餅3,000円	
10位	飛び賞 ヒルズ賞		⑩もち餅3,000円	
11位	当白賞 太陽工機務-山台南ゴルフ賞		⑪もち餅5,000円	トートバック
12位				
13位	大城運輸賞		⑬もち餅3,000円	
14位				
15位	飛び賞		⑮もち餅3,000円	
16位				
17位				岩井田練習券
18位				
19位				
20位	飛び賞		⑳もち餅3,000円	
21位				
22位	ぞろ目		㉑たまご	
23位				
24位				
25位	飛び賞		㉕もち餅3,000円	
26位				
27位	商工会長賞	①道の駅 5,000円		岩井田練習券
28位				
29位	ヒルズ賞	葉天子ケット6名		
30位	飛び賞		⑳もち餅3,000円	
31位				
32位	ライオンズ賞			
33位	ぞろ目		㉑たまご	
34位	中間賞議長賞	道の駅 5,000円		
35位	飛び賞		㉕もち餅3,000円	
36位	山台南賞	ボール		
37位				ボール
38位				
39位				
40位	飛び賞		㉙もち餅3,000円	
41位	太陽精密賞	②道の駅 5,000円		
42位				
43位				
44位	ぞろ目		㉑たまご	
45位	飛び賞		㉕もち餅3,000円	
46位				
47位	ロータリ賞	③道の駅 5,000円		
48位				
49位				



## 2023年7月27日(木) 第2652回 例会

皆さんこんにちは。先週の夜間例会では多くの会員の皆様方にご参加いただきまして盛大に新入会員歓迎会を開催できましたこと、御礼申し上げます。

東南部が九州よりも先に梅雨明けしてからというもの、連日の激しい猛暑となっておりますが、一年で一番熱いこの時期、会員の皆様方に於かれましてはいかがお過ごしでしょうか。

先日、実家の83歳になる母がいよいよ車の運転をやめると決心しまして、車を手放すことになりました。ブレーキ・アクセルのふみ間違いや逆走などしないかと気をもんでいたところでしたから家族一同安心しました。

車も買い取ってもらうことにしまして、インターネットでサイトを検索して手続きを進め先日無事に手続きが完了しました。ちょうど時期を同じくしてビッグモーターの事件が発覚したところでしたので、私も万が一にも今回の車買取でその会社を選んでいたら、相当後味の悪い思いをしたのだらうと思っているところです。

連日、会社のニュースを見ていて感じるのは、人間とは欲や煩悩の絶えないものだということです。

2500年も前から説かれているお経の言葉を持ってまいりました。



『仏説無量寿経』というお経の中にある言葉です。

うでんうでんうたくうたく むでんやくうよくうでんむたくやくうよくうたく  
有田憂田有宅憂宅 無田亦憂欲有田無宅亦憂欲有宅

訳…田があればそれに関連した心配事は尽きず、家があればそれに関連した心配事は尽きない。

田が無ければ無いで手に入れたと思う悩み事は尽きず、家が無ければ無いで手に入れたと思う悩み事は尽きない。

それを手にしていてもまた手にしていなくても人間の煩惱は尽きないことを説いています。

さらに続けて、「たまたま 1 つあればまた 1 つ足りないと思い、こちらが足りたと思ったらそちらが足りないと思い、あれもこれもと等しく揃うことを思う。全てをもれなくほしいと欲すればたちまち散失して消え失せるものだ。」とい内容が説かれていきます。

簡潔に述べれば人間とは欲の深い考えばかりだと心得た上で「足るを知る」ということを忘れず、大幅に足を踏み外すことなく生きなさいということでしょう。

さて、ガバナー事務所からは地球環境保全プロジェクト『ロータリー奉仕デー』についておしらせが来ました。「今年度の実施日は 10 月 1 日(日)で、それぞれの地域で一斉に清掃活動を実施したいと考えています。何卒ご検討いただきたくようお願いいたします。」

という内容です。

活動の詳細はまた後日となりますが、担当の委員会をはじめとして多くの会員の皆様方と共に地域の環境保全のために役立つよう活動しましょう。



## 2023年8月3日(木) 第2653回 例会

皆さんこんにちは。猛暑日が続いておりますが、お疲れの方、体調不良の方はいらっしゃいませんか？

さて8月に入りもうじきお盆を迎える時期となってきました。

時期的に丁度良いタイミングかと思い今日は「布施」という言葉を持ってまいりました。

「布施」はサンスクリット語（サンスクリット語…インドなど南アジアや東南アジアで用いられた古代語）で「ダーナ dana」と言います。

布施と言えば即、仏事の時の金品というイメージですが、もともとはもっと意味合いが幅広く、僧侶が仏道を歩む上での様々な実践行為も含まれているものでした。そしてもう一つは「施しを行う人全般のこと」を示す大事な意味を持って今日まで至りました。

サンスクリット語はインド・ヨーロッパ語族のひとつで、更にたどっていくと西方の語源とのつながりが出てきます。

ダーナという言葉はラテン語の「与える」という意味の「ドナーレ donare」を語源として一つに繋がっています。さらには「ドナー donor」として英語に取り入れられていきました。ドナーは何かを寄付・寄贈するという意味で、日本の社会では特に角膜や臓器の提供者として用いられることから身近な言葉と言えますね。

もう少し視野を広げれば、災害復旧や福祉事業などで無償の奉仕活動をするボランティアも労働力という「布施」をすることで立派に社会貢献を果たしていると言えるでしょう。そう考えると、一般的な金品のイメージの「御布施」よりもドナーやボランティアの方が仏教本来の「布施」の行いに近いように思われます。

国際ロータリー 2520 地区の 2022～2023 年度の奉仕活動の表彰者一覧がガバナー事務所より届いております。こちらには昨年度様々な方面で奉仕活動いわば「布施行」をされたクラブ、また個人が載っております。のちほど回覧いたしますのでご覧ください。

また更に今日は社会奉仕活動に今年度全力で取り組む社会奉仕委員長のスピーチがあります。

みんなのために、また地域社会のために貢献する大河原ロータリークラブの今年の「布施行」の方針についてのお話です。佐藤能文委員長、後程よろしく願いいたします。

さて、今月の誕生記念会員です。

23日：日下 潔 会員 31日：櫻井俊寛 会員です。おめでとうございます。

今年度はバースデーケーキが3種類から選べるようになっておりますので、ご希望がありましたら早めにお知らせくださいますようお願いいたします。

来週はお盆のために例会は休会となります。

今回は17日の夜間例会となりますので、皆様方のたくさんの出席をお待ちしております。



